

平成 29 年度高次脳機能障害診断・リハビリテーション研修会事業実施要綱

1 目的

高次脳機能障がい者は、記憶障害、遂行機能障害、社会的行動障害、病識の欠如等の認知障害を原因として日常生活及び社会生活上の適応が困難となるが、外見上からはわからず、本人の自覚も得られないことから「見えない障害」とされており、潜在化したまま長期間在宅生活を送っている場合が多い。

本研修会では、高次脳機能障害の診断基準、精神障害者保健福祉手帳の取得と在宅生活を支える各種サービスについて医療関係者に情報提供することにより、タイムリーに支援につながることを可能とし、もって高次脳機能障がい者や家族の生活の質の向上を図る事を目的とする。

2 実施主体

北海道

3 開催日時

平成 29 年 11 月 25 日（土）14:15～17:00

4 開催場所

釧路市生涯学習センター（まなぼつと幣舞）705・706 号室（釧路市幣舞町 4 番 28 号）

5 受講対象

急性期・回復期・慢性期各期で診断・リハビリテーションに係わる医師・メディカルスタッフ等

6 研修内容

(1) 研修の目標

ア 高次脳機能障害の発症から回復期・慢性期にいたるまでの診断・リハビリテーションや精神障害者保健福祉手帳の診断書への記載方法等、スムーズな地域移行に有用な最新の医学情報を学ぶ。

イ 実際の事例の回復過程をとおして、タイムリーなサービスの導入とその効果を学ぶ。

ウ パーソナルノートの目的と使い方を実際を参考に参考にする。

(2) 講師・説明者等

ア 東北大学医学部 高次機能リハビリテーション科臨床教授 深津 玲子 氏

イ 事例提供者

釧路総合振興局保健環境部保健行政室健康推進課 指導主任看護師 小野 富美 氏

ウ パーソナルノートの紹介

脳外傷友の会コロポックル 副代表 藪中 弘美 氏

(3) プログラム

ア 基調講演「高次脳機能障害にかかる診断・リハビリテーションの最新情報～急性期から回復期・慢性期へのスムーズな移行のために～」

イ 事例報告「高次脳機能障害者の支援について」

ウ 情報提供「脳外傷友の会パーソナルノートについて」

7 受講申込方法

所定の申込用紙（別紙）により、障がい者保健福祉課あて申し込むこととし、定員を超える場合は、その旨通知する。

8 受講料

無料

9 その他

日本医師会生涯教育制度の単位（2.5 単位）の取得を申請できる。

（カリキュラムコード：4 医師－患者関係とコミュニケーション（1 単位）、13 医療・介護・福祉の連携（0.5 単位）、15 臨床問題解決のプロセス（1 単位））

高次脳機能障害診断・リハビリテーション研修会のご案内

～潜在化している高次脳機能障がい者やご家族の生活の質の向上を目指して～

- 高次脳機能障がい者には、記憶障害、遂行機能障害、社会的行動障害、病識の欠如等が見られ、これらの認知障害を要因として日常生活及び社会生活上への適応が困難となります。
- しかし、高次脳機能障害は、外見上からはわからず、本人の自覚も得られないことから、「見えない障害」とされており、高次脳機能障害と診断が得られず潜在化したまま長期間在宅生活を送っている方がいらっしゃいます。
- こうした現状の背景には、診断基準やサービスについて、多くの医療機関関係者へ十分な情報提供がされていないこと等があるものと推察されており、急性期から回復期・慢性期までのスムーズな地域移行に関連する様々な情報（精神障害者保健福祉手帳及び障害年金の診断書にかかる記載の留意点を含む）や連携方法等を習得するため、本研修を実施します。医療機関関係の多くの方々の受講をお待ち申し上げます。

※ 本研修会は、北海道医師会及び釧路市医師会の承認を得て、北海道医師会認定生涯教育講座の一環として行います。

開催年月日	平成29年11月25日（土）14：15～17：00
会場	釧路市生涯学習センター705・706号室（釧路市幣舞町4番28号）
対象	医師・メディカルスタッフ等
内容	I 基調講演「高次脳機能障害にかかる診断・リハビリテーションの最新情報 ～急性期から回復期・慢性期へのスムーズな移行のために～」 講師 東北大学医学部 高次機能リハビリテーション科臨床教授 深津 玲子 氏
	II 事例報告 北海道釧路保健所（釧路総合振興局保健環境部保健行政室）
	III 情報提供 脳外傷友の会パーソナルノート
定員	100名
締め切り	11月10日（金）

※日本医師会生涯教育制度の単位（2.5単位）の取得を申請できます。

（カリキュラムコード：4医師-患者関係とコミュニケーション(1単位)、13医療・介護・福祉の連携(0.5単位)、15臨床問題解決のプロセス(1単位)

<深津玲子先生経歴>

学歴・資格：東北大学医学部卒業、東北大学医学部（神経内科・高次脳機能障害学）、Baycrest Centre for Geriatric Care, Rotman Research Institute (Toronto, Canada)、独立行政法人国立病院機構宮城病院神経内科部長等を経て現職に至る。

所属学会：日本高次脳機能障害学会（理事、高次脳機能障害全国実態調査委員会委員）、日本神経学会、日本リハビリテーション学会、日本内科学会、日本神経心理学会（評議員）、東北神経心理懇話会（世話人）神経内科専門医、リハビリテーション科専門医、日本内科学会認定内科医

社会的活動：厚生労働省高次脳機能障害支援普及事業 全国協議会幹事会委員

【参加申込みについて】

- 1 申込み方法 裏面受講申込書により FAX でお申し込みください。
- 2 申込み先 北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課精神保健グループ
FAX：011-232-4068 TEL：011-204-5279（直通）
所在地：〒080-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

